

東京工業大学理学院・系外惑星観測研究センター

■ 今年度後半(2020年8月～2021年3月)の188cm望遠鏡の利用日数

- 研究利用:200夜(東工大、東大、岡山理科大、京大、工学院大、国立天文台、アストロバイオロジーセンター、総研大)
- 観望会:8夜(浅口市)

■ 188cm望遠鏡および観測装置の運用状況

- 観測はHIDES-F、MuSCATともに遠隔操作で実施されている。
- 10月下旬～11月上旬、3月中旬～下旬に約2週間ずつのドーム工事を実施。来年度も秋以降に約3週間の工事を実施予定。
- 新型コロナの状況が比較的落ち着いていた11月に188cm主鏡とかなた主鏡の蒸着を実施した。来年度は今のところ9月上旬頃に実施予定。
- 今年度は遠方(特に東京)からの出張が困難な状況にあり、装置交換等は主に岡山在住の研究者と浅口市にお願いすることが多かった。

■ 2021年2月3日:令和2年度第2回188cm反射望遠鏡運用協議会(国立天文台―東工大―浅口市;オンライン)

- 今年度の運用報告と来年度の運用予定を協議
- 次回は2021年7月の予定

188cm望遠鏡の利用に関心のある方は188cm望遠鏡運用委員会(委員長・佐藤(東工大))まで